

平成28年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

| | |
|------|-------------------------------------|
| 事業名 | 電力自由化をきっかけに市民・家庭が主役のエネルギーシフトをすすめる事業 |
| 団体名 | NPO法人こだいらソーラー |
| 担当課名 | 環境政策課 |

①目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

| | |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・電力自由化が始まり、経済性だけでなく環境面で再生可能エネルギーの選択肢が自由に選べることの理解と省エネ生活の実践に向けた工夫にシフトすることを意識してもらうために、事業の目的と内容について情報共有し進めることができた。電力自由化の市民の理解が最終目的ではなく、正しい理解の下、少しでも再生可能エネルギーへのエネルギーシフトに繋がる啓発活動になるよう、担当課と協議しながら様々な手法で市民に働きかけることができた。</p> | |

②自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

| | |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・互いの得意分野・役割分担を理解・尊重し、効果的に事業を進めることができた。</p> | |

③相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

| | |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・3年連続の協働事業の運営であり、互いの組織を理解し、スケジュール・市民向けの意義等熟知の上、柔軟な対応ができたと考える。</p> | |

④対等関係（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

| | |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・事業の実施に当り、チラシの作成から市報への掲載等、互いの役割分担を踏まえた上で、その都度協議・連絡等を重ね、安定的な事業運営をすることができた。</p> | |

⑤情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

| | |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・1年間を通して、継続的なメールのやり取りを中心に、必要に応じて面談を行うことにより、内容の確認ができ、十分な情報共有が確保された。</p> | |

⑥役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

| | |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| ・いきいき協働事業は3年目に当り、互いの役割分担の高い認識の下、素早い確認と行動を伴った準備ができた。 | |

⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

| | |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた | 担当課自己評価：十分達成できた |
| ・市民団体である「こだいらソーラー」ならではの市民レベルのネットワークを生かし、市民への呼びかけや集客ができた。また、市より専門的な知識を有するため、より効果的に事業展開ができた。 | |

⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

| | |
|--|---------------|
| 団体自己評価：達成できた | 担当課自己評価：達成できた |
| ・電力自由化という市場の仕組みの変化をきっかけとして、省エネ・創エネへのシフトの動機付けが、経済面だけでなく自然環境保全面からも市民レベルでできたと考える。 | |

⑨地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

| | |
|--|---------------|
| 団体自己評価：達成できた | 担当課自己評価：達成できた |
| ・市民による電力自由化スタートとその内容の理解が進んだと考える。また、並行的且つ継続的に行った省エネ・創エネの催しを通じて省エネと再生可能エネルギーの大切さを実感してもらったと考える。 | |

⑩その他意見（提案団体から）

| | |
|---|--|
| ・今回の事業の実施に当り、小平市における関連他の団体との交流が進み、水平的な繋がりができたと考える。今後は、分野の違う団体との交流を図り、地域の抱える問題・課題をオール小平として捉え、こだいらソーラーの得意分野である省エネ・非常用電源確保の面から、関わりを持てるよう関係強化に努めたい。 | |
|---|--|

※自己評価項目

| | |
|---|----------|
| 1 | 十分達成できた |
| 2 | 達成できた |
| 3 | 概ね達成できた |
| 4 | 目標を下回った |
| 5 | 達成できなかった |